

敦賀火力発電所 2号機の運転再開について

平成24年10月22日
北陸電力株式会社

当社は、10月16日、敦賀火力発電所 2号機（定格出力70万kW）のボイラー過熱器において、通常より温度の高い配管を確認したため、10月18日に運転を停止して配管の点検を行いました。（10月18日お知らせ済み）

点検の結果、当該配管内部に異物を確認し、除去いたしました。この異物により配管内部を流れる蒸気の量が低下し、配管温度が高くなったものと推定しております。なお、この異物が配管内に入った原因については、今後、調査してまいります。

当該配管以外の類似箇所についても点検し、異常のないことを確認したことから、本日（10月22日）4時44分に運転を再開いたしました。

当社は、今後も発電所の安全運転に万全を期してまいります。

以上

<ボイラー過熱器 概要>

